

NPO K's Point

第2回 運営会議（総会）

開催日：2013年4月13日（土）午後12時30分～12時45分

議長：森本 武（NPO K's Point 代表、京都嵯峨芸術大学教授）

司会・書記：伊藤 あゆみ（NPO K's Point 事務局長）

目次

『NPO K's Point mission（目的）』（P.1）

【報告事項】

1. 活動報告

・2011年度後期／2012年度前期（P.2, 3）

2. 収支報告

・2011年度収支報告（P.4）

3. 2013年度活動計画

3.1 会報発行から文庫本発行への移行と News Letter の PDF 化（P.5）

3.2 事業別年間活動計画（P.6）

NPO K's Point

mission

目的

J. クリシナムルティの思想研究をとおして、思考に依存しない生き方の可能性をさぐり、人間のいなく不安の軽減、解消の実現をはかる。

より具体的には、「今」という絶対的現在を曇りなく生きる知性の存在を検証し、その成果を種々の活動、媒体をとおして広報する。

1. 本会は、一定の目的をもった慈善事業を営む資源を確保するため、営利事業にも節度をもって取り組む。
2. 目的の実現と手段は直結しているので、手段としての営利事業の取り組みにおいても、常に目的の範囲を逸脱しないよう細心の注意を払う。
3. 組織的成熟にむけて短中期的に構想するが、長期の見通しはもたない。

1. 活動報告 2011 年度後期／2012 年度前期

■ 2011 年度 後期 (2011.12.1-2012.5.31)

2011 年

12月11日 講演会「9つの大きな疑問—クリシュナムルティは沈黙したスピリチュアリズム」
(高槻現代劇場 市民会館・大阪府高槻市) / 講演者: 森本武 (NPO K's Point 代表)

Q1: 生は、死までの短い営みにすぎないのか。Q2: 死んだら、「私」は完全に消えてなくなるのか。
Q3: 死後、生前の記憶はどこかに保存されるのか。Q4: 死後、罪深い人間は地獄に落とされる
のか。Q5: 幼児で亡くなる子供はなにかの罰なのか。Q6: 死んだら霊になるのか。Q7: 生まれ
変わりは本当にあるのか。Q8: 死んだ親友と、あの世で会えるのか。Q9: 運命はあらかじめ決
まっているのか。

2012 年

1月22日 講演会「わずかなお金と最小の不安で生きる呑気な暮らし
—J. クリシュナムルティの思想を生きる」
(大学コンソーシアム京都・京都市下京区) / 講演者: 森本武 (NPO K's Point 代表)

あれこれ考えると不安の素が増える。ざわついた頭は、無意味な行動に走りがち。無駄にお
金と時間がうばわれる。空白の頭で生きると、自動運転の電車みたいに、楽に暮らせるはず
です。こういう考え方、信じられますか？

2月11日 講演会「そのままで怖れることはなにもない」
(マニホージュ・神奈川県秦野市) / 講演者: 森本武 (NPO K's Point 代表)

人生の中にある苦難、苦勞は、永遠の命の前では微風にすぎません。しかし、われわれは、
自己の命の正体に気づかず、頭ばかりひねって、問題を解こうとしているのです。
「解決」や「安心」を願望しているかぎり、不安と苦痛は常に共にあることでしょう。
大災害の真つただ中であって、世界経済の深刻な低迷期に生きるあなたは本当に幸福を知り
えないのか、本気で探求してみましょう。

2月25日 Kの生活塾 第05回「日常の作業」(京都嵯峨芸術大学・京都市右京区)

使い慣れた道具を、慣れ親しんだ場で使う日常の仕事は、生きている時間の「主役」といい
たくなる。ここでは、常に、全方位の運動の中にあるので、この日常の至福を常に見いだせ
ているわけではない。作業に見出されるささいな歓びは、慎ましい日々にも「偉大な栄光」
が眠っている証ではないか。

4月14日 K's Point English Class #01 「An active mind is silent」

(京都嵯峨芸術大学・京都市右京区)
クリシュナムルティの原文を読む、英語初級者のクラス。

4月28日 Kの生活塾 第06回「人と人との間」(京都嵯峨芸術大学・京都市右京区)

苦楽の日々を生きるわれわれにとって、「楽」はありがたい時間。
息抜き、リフレッシュメント、快楽をとおして自分を立て直そうとするわけだ。
少しでも楽をひろげて、苦を押しやりたいのが人間。人生における娯楽の意義を問う。

5月1日 NPO K's Point 会報『insight』第02号発行

5月19日 江村耕市研究室 特別協賛イベント
「Krishnamurti を観る；映像+音+コトバ『不安の時代をどう生きるか』」
(京都嵯峨芸術大学・京都市右京区)

[不安の時代をどう生きるか]
(1) 「不安なく生きる秘訣」講演者: 森本武 (NPO K's Point 代表)
(2) 『Krishnamurti を観る』上映&トーク 講演者: 江村耕市 (京都嵯峨芸術大学准教授)

5月27日 **K's Point English Class #02**
『In the action of will, one dominant desire is imposing itself upon other desires』
(京都嵯峨芸術大学・京都市右京区)

■ 2012 年度前期 (2012.6.1-2012.11.30)

6月23日 **Kの生活塾 第07回「読書」**(京都嵯峨芸術大学・京都市右京区)

校庭の片隅で、ひとりベンチに座って読みかけの本を鞆から取り出す。だれかが、自分の行動を見つめているようにおもえて、様になる座り方を意識する。私は、この本をなぜ選んだのか。その理由を知らない。どんな姿勢で本を読むのか、それが問題などときに、私は明らかに本に無関心な心に出会う。2千年以上前にだれかが思いついた話が、21世紀の工場で本として印刷製本され、私の手でつかまれている。

6月30日 **K's Point English Class #03**
『99.9percent of our actions are an approximation of a belief, an idea, a concept, an image』
(京都嵯峨芸術大学・京都市右京区)

7月22日 **探求の会「災難」**(神戸市勤労会館・神戸市中央区)

災難の多いひとは、単純に不幸なひとか。それは、気まぐれに我々の生活を襲う、恐ろしいだけの存在なのか。人間の手に負えない災いを前に、改めて、つよく生を実感することもある。災難を、たくましく生きる力に取り込んで、あなたを再生させることはできないのだろうか。

8月1日 『思考は生(いのち)を知らないークリシュナムルティと共に考えるー』 刊行
(著者：森本 武 / 出版：JDC / ソフトカバー / A5版、/127p)

8月11日 **K's Point English Class #04 「What We Believe」**
(京都嵯峨芸術大学・京都市右京区)

8月25日 **Kの生活塾 第08回「記憶」**(京都嵯峨芸術大学・京都市右京区)

ひとは、記憶という時間の中に人生を展開している、といい。言語、習慣、社会制度等として蓄積された知識を駆使しつつ、過去の個人体験をひんばんに再生しながら、日々を生きる。しかし、個人のレベルにおいても、集団のレベルにおいても、記憶への依存がこれほどまでに大きなものになっているという事実によく気づいていない。愛も、生命も、幸福も記憶の中には存在しないのに。

9月23日 『思考は生(いのち)を知らないークリシュナムルティと共に考える』
出版記念ミニ講演「実用思考と不実用思考」 / K語・観察会「中心—CENTRE」

10月13日 **Kの生活塾 第09回「クリシュナムルティへの疑問ーKのここが分かりにくい」**
(京都嵯峨芸術大学・京都市右京区)

「Kの言葉は分かったような分からんようなが多い。」「実際の人生にどれほど、また、どのように役立つのか、分かりにくい。」「Kはあまりにも特別な人間で、われわれ凡人が、そんなひとの言い分を理解できるはずがない。」そんな思いを、よく聞かされます。今回は、これまでに取り上げてきたKの重要語も含め、どこが分かりにくいのか、本当に意味のあることをKは語ってきたのか、といった率直な疑問を雪合戦みたいに快活にぶつけたいとおもいます。

10月26・27日 「あかりとアートのプロムナード 岡崎ときあかり」(細見美術館中庭・京都市左京区)
『思考は生(いのち)を知らない』よりフレーズを江村耕市+emuralabo制作の映像作品へ提供

2. 2011 年度収支報告

2011 年度 <第 1 期> 収支報告 (2011.6.1-2012.5.31)

■ 収入の部

(勘定科目)	実 績
予備金 繰越	0
イベント事業収入	142,100
相談事業収入	2,500
出版事業収入	9,340
商品売上収入	70,380
年会費収入	237,800
寄付金収入	27,950
雑収入	13,690
[合計]	503,760

注：森本代表からの借入金（預り金収入）は含まない

■ 支出の部

(勘定科目)	実 績
イベント事業費	39,250
出版事業費	178,000
商品仕入	58,280
消耗品費	64,626
通信費	12,620
旅費交通費	8,730
諸経費	0
予備金	142,254
[合計]	503,760

注：スタッフへの給与等は含まない

3. 2013 年度活動計画

3.1

会報発行から文庫本発行への移行と News Letter の PDF 化

■ 会報 insight について

- ・ 現在、年度内に 2 回発行している会報「insight」を終刊し、年度内に一度（毎年度 12 月を目安）の文庫本刊行に移行する。
- ・ 文庫第 1 弾は、『日常を深く生きる』のリニューアル版を予定。

■ News Letter について

同じく、年度内に 2 回発行している News Letter は、3 回程度を目処に増やし、PDF データ化する。PDF データはウェブサイトに掲載し、会員以外も閲覧可能。内容は、以前よりもイベント内容の掲載を増やし、不定期にコラム等も載せる。

【目的と理由】

発行回数を減らすことで、発送料の経費と、手間を節約する。その分、内容作成に時間をかけ、後々も商品として継続的に販売できる文庫本をつくる。

News Letter にイベント内容のまとめ等を掲載すれば、参加が難しい会員にも、その実態を伝えることができる。

また、そのような状況にありながら K's Point に関心のある人たちの会員登録の動機付けともなる。

3.2

事業別年間計画

■ イベント事業

- ・ K の生活塾：6 回 ※テーマと日程は下記参照
- ・ 講演会：2 回
- ・ 探求の会：1 回
- ・ K 語・観察会 (or Tea Party)：1 回
- ・ その他イベント：1 回

※ K 語・観察会 (or Tea Party) は、奈良のレストランカフェ・ラルジャンド ポシュにて行う。

※イベントの回数・内容等は、は予告なく変更される場合がある。

■ 出版事業

- ・ 『向心的暮しの創造』 文庫版の発刊
- ・ 会報文庫として 『日常を深く生きる (改訂版)』 の発刊

<編集企画>

誰にでもわかるクリシュナムルティの本 (タイトル未定)

【2013 年度 K の生活塾】 テーマと日程

- 第 13 回 『嫉妬』 2013 年 6 月 1 日 (土)
- 第 14 回 『選択』 2013 年 8 月 10 日 (土)
- 第 15 回 『笑い』 2013 年 10 月 12 日 (土)
- 第 16 回 『野心』 2013 年 12 月 21 日 (土)
- 第 17 回 『孤独』 2014 年 2 月 15 日 (土)
- 第 18 回 『対話』 2014 年 4 月 19 日 (土)

NPO K's Point
www.kspoint.com

617-0006 京都府向日市上植野町北小路 42-6
Email kspoint1998@yahoo.co.jp
FAX 075-935-5394